



中和田小の素敵なおとこ

副校長 加藤 義治

1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、石川県を中心に大きな被害をもたらしました。亡くなられた方へのお悔やみと、被災された方々にお見舞い申し上げます。

中和田小学校に赴任してはや10か月近く過ぎました。常日頃より本校の教育活動にご理解ご協力ありがとうございます。1月末は、朝晩、本来の冬の寒さが続きました。毎朝、「今日が寒さの底だ」と思いながら出勤していましたが、日に日に寒さが強まっているように感じます。子ども達も寒いながらも、上着で調整しながら、教室の換気に気を付けて過ごしています。

1月のある日、校内の戸締りの際に中和田小の屋上から星空を見上げると、駅や幹線道路に近い比較的明るい場所なのにそこから見える夜空はプラネタリアムの天球のようでした。冬の夜空で真っ先に探してしまうのが三連星で有名なオリオン座。南の空にすぐに見つかりました。そのオリオン座の周りの一等星を結んだ「冬のダイヤモンド」と呼ばれる六角形をご存じですか？冬のダイヤモンドは、6つの一等星、おおいぬ座のシリウス、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、ふたご座のポルクス、こいぬ座のプロキオン、を結んでできる六角形です。（有名な冬の大三角は、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結んでできる三角形です。）日本で見える一等星は15個程度、そのうちの7つを一度に見ることができます。大きな六角形なので慣れないと一度に視野に収めるのが難しいのですが、中和田小からは冬のダイヤモンドを簡単に見つけることができるのです。夜になると星がよく見える。風土・環境の面で私が見つけた中和田小の素敵なおとこの一つだと思いました。



参照元：ウェザーニューズ
<https://weathernews.jp/s/topics/201712/190075/>

さて、昨年末の学校評価アンケートでは、多くのご回答をいただきありがとうございました。詳細な結果は、分析した上で2月中旬に詳細をお伝えしますが、「地域・保護者の皆様を感じる中和田小学校の強み（良いところ）や、児童の素敵だなと思うところ」の自由記述において、異学年交流について肯定的なご意見を多くいただきました。今年度は、ペア学年での交流を積極的に行ってきました。1年生と6年生は入学時のお手伝いから始まり、遊びの交流など手紙を交換するくらい仲良くなりました。3年生は2年生との交流会に向けて算数の授業の中で2年生から聞いたアンケートをもとに遊びを決めていました。4年生と5年生はお互いの宿泊体験学習の際に教えたり、励まし合ったりしました。ほかにも伝えきれていない異学年での交流がありますが、それらの様子は今後学校 Web ページ等を通じて伝えていきます。

今後も中和田小のよさを生かし、子ども達、地域・保護者の皆様とともに学校教育目標の「共に育つ中和田」実現のために、よりよく、持続可能な在り方を模索していきたいと思っています。